みんなの文芸

引間豐作選　投稿数23句

おひなさま一年ぶりにわらってる　皆野　たばたるみか

（評）おひなさまは永遠に同じ表情をしているはずであるが、一年ぶりに笑っているとみた作者に感服である。雛飾りをする家族の様子や作者の喜びが手にとるようにわかる。擬人法とかいって評価するのはおこがましい。これこそ写生である。下屋とは、母屋に差し掛けて作った片流れの屋根のことである。過日の大雪の後のことであろう。雪解けの水滴が凍って軒から棒状にたれ下がった氷柱は、雪の量に比例して太く長くなった。三尺としたほうが九十センチと言うより趣きがある。

北の下屋つららは太く三尺に　皆野　保科　従道

地吹雪や風の悪戯止めどなく　皆野　関根　助市

ひととせを巡りて春を忘れまじ　皆野　小室外美男

縁側に孫と微睡む日向ぼこ　皆野　源氏　和幸

荒れはてし山に春蘭生きている　三沢　澤野　恒平

腰丈の雪を掃きつつ隣迄　三沢　鈴木　貞恵

石仏も埋まる恐怖や春の雪　上日野沢　四方田利男

アネモネやよりそふ彩にほっとせり　三沢　新井　弘延

大雪の庭に餌を撒き小鳥呼ぶ　皆野　大沼シヅ子

雪積もる近くて遠い隣かな　皆野　引間　千鶴

ともがらも卒寿に近し野に遊ぶ　三沢　長谷河ソノ

雪女隠れていそう積もる雪　下田野　新井　節子

中田久恵選　投稿数21首

豪雪の被害とソチの感動をいたく残して二月は去りぬ　三沢　眞下　杏子

（評）二つの事柄をすっきりと筋を通して一首にまとめ結句の「二月は去りぬ」と切口するどく紡ぎ上げた非常にご立派な秀歌である。

無念なりし演技のりこえ華麗なる真央のスマイル金の輝き　皆野　新井　愛子

（評）「真央のスマイル金の輝き」この歌の核はしっかりとこの言葉に集約されている。十六位から自己最高点のフリーでメダルの色を超え、有終の美を飾った。

人々の生活閉じ込め記録的春の大雪古老も知らず　皆野　根岸　詩子

（評）三十一文字にきちんとまとめた言葉忘れがたい短歌である。二月十四日から降り続いた未曾有な積雪一メートル余。道路寸断、秩父の二三三戸、五五八人の孤立。言葉では形容しがたい恐怖と苦しみが襲った。しかし、この猛威に打ち勝ち生きていかなければと思う。

春の雪うず高く積み身巾道庭に掘られて門道のあく　三沢　長谷河ソノ

失敗の切り替え凄し真央選手の完璧演技に感激なせり　下日野沢　浅見　豊子

核家族故に生涯現役ぞ連日雪掻き二月も終る　三沢　新井　叶子

皆が出て心ひとつに雪を掻く脇道開くは日暮れとなりぬ　皆野　引間　万亀

古老説く温暖化のこと今まなぶ災害憂ふ春雪の闇　三沢　新井　民子

この春は少し遅れて白梅の一気に咲けり桜花のように　三沢　鈴木　貞恵

高齢者の早起きグランドゴルフ場ホールインワンの歓声揚がる　皆野　関根　助市

豪雪は大震災の如くなりリュックを背負い歩く人々　皆野　保科　従道

下半身すっぽり埋まる大雪に釣用ウェイダー眠りから覚める　皆野　打木　昭広

ささやかな税を納めて春風にアベノミクスの効果期待す　皆野　加藤マリ子

しんしんと朝起きてなお雪降りて大雪被害に心揺るぎぬ　皆野　源氏　和幸

何故ここの北の原野に一人居る七十五才の元気を測る　皆野　戸塚喜久雄

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう

颯（はやと）くん

駒形区南　光さん　恵里さん

食いしん坊な颯君。
いっぱい食べて大きくなってね。

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに総務課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

問合せ　総務課企画政策防災担当　☎62-1231

大雪により倒壊した災害廃棄物の無償受入れ期限は平成26年5月30日㈮午後4時までです

※農業用ビニールハウスは受け入れを継続します。

問合せ　町民生活課環境衛生担当　☎62-1232